（十一日夕刊）

磐城新聞

（大正十年四月二十二日第三種郵便物認可）　昭和二年八月十二日　磐城新聞　［金曜日］　第二千十五號（一）

休刊日　大祭第一・第三日曜日
定價（郵送料共）一ケ月五十錢　一枚二錢
廣告料　（縁欄一行五十錢　場所指定二十錢）
發行兼編輯印刷人　福島縣平町田町拾六　蓮沼龍輔
發行所　磐城新聞社　電話五六四番

今や青年奮起の秋（七）

磐城佑賢學舎長　大和田豊吉

若し今日の獨逸にして尚此主義を繼續して主張するならば世界の協力調和などは到底不可能となること論を待たないからである故にストレーゼマン氏の否獨逸國民の世界に向つて發表せんとする事の何れにあるかを聞かんがために我々は大に緊張したのである、彼の演説ぶりは大した事もなかつたが其内容に至りては戰後の獨逸人の思想上に一大變革を起した如く聞いた殊に其演説中にあつた左の一句の如きは獨り獨逸人のみならず何れの國民も傾聽し服膺すべきものであらうと思ふ曰く

自國民の信念に確乎たる根底を置いて彼等の最高なる點に至るまで自己の道心及び能力を發揮し以て自己の國境を越ゑて一般の人類に奉仕する人こそ全世界に最も多く貢献するものである

との演説であつたと申された諸君御覧遊ばせクルプ會社さへ今日のまゝにてあらば如何なるものとも恐るゝに足らず條約は恰も反故の如しと

喝破して世界を併呑せんと企てた流石の獨逸カイゼルも亦獨逸國も今日はどうでありませう、先に自國民の信念に確乎たる根底を置いてとは誠に面白いではありませんか諸君獨逸國は斯くの如く見覺めて自國本位に立ち返へり先づ第一に自國に注意して獨逸國の何物たるかを研究し而して自國民の道德心を修養し之に加ふるに何事にても爲し得る底の能力を養成し之を發揮して以て自國内を統治するばかりか國境を越ゑて世界萬國に推し及ぼし以て獨逸國をして世界

冠たらしめられて居り事を然るに今日彼ストレーゼマン氏が之を知らないで恰も新發見であるかの如く仰々しく之を吹聽するは實に愚劣とや申さんか笑止とや申さんか誠に沙汰の限りである、と申さねばならぬ、然るに我が大日本帝國に於ては斯くの如く見覺めて自國家の理想とも申すべき一に自國に注意して獨逸國の何物たるかを研究し而して自國民の道德心を修養し之に加ふるに何事にても爲し得る底の能力を養成し之を發揮して以て自國内を統治するばかりか國境を越ゑて世界萬國に推し及ぼし以て獨逸國をして世界

冠たらしめんと努力する所要するに獨逸國は前皇帝カイゼルが首謀者となつて力を以て世界を征服せんと歐州大戰亂を捲き起したが此計畫は遂に失敗に歸して今日は前に申し上げた樣に德を以て國を治め而して其餘力を世界各國に推し及ぼさんと努むる所實に道德化の新政治であると斷言するも強ち無稽の囈語ではあるまい要するに是が先づ世界に於ける新政治の歸着點で否政治ばかりでなく外交も教育も殖産

國家の總ての事業の歸着點であり到達點であると思はるゝのであります斯くの如く獨逸國外務大臣ストレーゼマン氏が麗々として唱道する揚言は是彼か新發見かと云ふに世界は廣し到底一人の腦力にては究の盡すべき所にあらず彼等が建國以來汲々として研究し平和に戰爭に殊に先年の歐洲の大戰亂を經て到達したる歸省點は豈圖らんや二千五百年も以前に彼等の夢想だもせざる東洋の一角に我大日本帝國に疾くに發

實施

せられた國柄であります一体王道主義とは何か抑も王道とは何を意味する言葉であるかと問はゞ王道とは固より王者の道と云ふことで王者は覇者に對して言ふので王道は王者の道覇道は覇者の道である王覇の別に就いて

支那の管子荀子なる取替へてしまふ決心をして其の用意をしてゐた。

やがて月滿ちて深雪の方は分娩した、ところがその三日前に清左工門の妻の早衣が分娩した。

胸に考へのある清左工門は妻が分娩した時に石出忠兵工と相談して最早深雪の方も分娩の日が近いと見て取り替え子をする爲めに

望郷

小泉貢

◆春は、朧の月浮かみ
彼と語りし過去の夢
◆緑葉洩れる三更の
窓邊を照らす夏の月
想ふともなく想はる
は幼ぎ頃の、夢なるが
浴後の身體を涼み臺
光る星々、曇間の月を
眺めて、祖母に聞かされし
空の神秘の數々を
わけて懐し思出なり
◆蟲の音繁き秋の夜は
冴ゆ冴ゆわたる蒼白き
月の光を身に浴びて
彼と、歩みし夢一つ
◆弦月凍る冬の夜は
生れし故郷を
懐し極ぞ一入に
涙に袖をぬらすなり。

さん事天壌と窮りなかるべし

是であります此の御神勅に就いては申し上げたい事

澤山

ありますが今日は時間が有りませぬから只此中王たるべき地なりとある王に就いて一言申し上げませう、今學新しく申し上ぐるまでもなく古來我が國は此御神勅に明かなる如く王道主義を取り行はせら

恋と涙と洗ふ

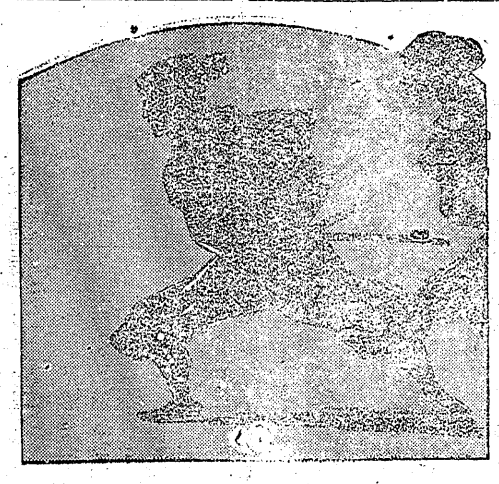
（111）

講談

高橋掬太郎創作
布施中八郎揮毫

謀し合せて

源家一門の再興を圖るた



至極吉き日と成るべし▲三碧　十分と思ふて仕掛けしてゐた。深雪の分娩の際に事も末途に破るゝ日▲四緑　前も後も塞がりて暗の夜に物を探るやうな日▲五黄　事後に其善惡を省み鏡とする樣に努むれば吉▲六白　白高潔なる精神を以て上下に對すれば萬事吉▲七赤　内に悶ゆることなく外に働けば得る所あり▲八白　謹直なる努力を續くる時は大を爲すべき日▲九紫　機會を得んとして却て禍害を掴

み取る日

と我が子の生れた事を秘し犧牲とねつて清盛の意に門の子を抱いて裏門の外に深雪の方は悲しい犧牲の決つて出で左内の抱いてゐる心をして昌康の意に從ひそ我が子を連れ戻り漸く取返の内室となつた、その代りして來たと云ふようにして姙娠中の成昌の子は無事に育てると云ふのが條件であつた。

然し約束はどの樣にしても奸智に長けた早間重太夫あるから途中で泣き出されでもしては大變である、また石垣を乗り越へる樣なは業と出來ないそれで清左工門もいろ〳〵と考へた分方法に苦しんだのであつた、門術の者にも心配した下手をやつて見とがめられたら大變であるから忠兵工は門内に入る時は御出産の御見舞に來たと云つて入り門内に入つてから覆面をし黒裝束を着けて忍び入ると云ふことにした、ところが同じ其の夜の事昌康と早間重太夫も深雪の方の子を盗み出す相談をしてゐた。

昌康は深雪の方を意に從へる時に子供は大切に育てると約束したけれど成昌の子を育てるといふことは怖しいことであつた、その子が生せた。またお乳の人には實成長しても何も知らずに居ればよいが若し成昌に對する自分の反逆を知つたなら必ず自分を仇敵としてわらふであらうと、どうしても其の子を育て成人させることが恐ろしかつた。

それで彼は重太夫に相談したのであつた。重太夫も成昌の子を育てることはいゝ氣持ちでなかつた家中の者の大半は今では昌康に忠は好都合の時刻であつた直義の士となり自分の云ふことによく從ふてゐる、しかし一部には隨分反感を有つてゐる者のあることを重太夫はよく知つてゐた、今のうちは昌康に勢力があるから默つてゐようがもし成昌の子が成人したなら必ずやそれを擁して立とうとするに極つてゐる、さすれば成昌の子を養育すると云ふことは我が首を斬る及を磨ぐ樣なものであると考へるといふ氣持ちがしない、で直ちに昌康の言を贊成し産所して産所から子を盗み出し密に殺して後の災を避けやうと云ふことになつた

重太夫は腹心の武士三人に命じてその夜の八つ頃に産所へ忍び込ませることにした、忍び込んで盗み出す役が一人、二人は庭にかくれてゐて萬一の際に助勢するといふのであつた

役そして寶部左内が清左工

寶部左内の妻を選んだ。

部左内の妻を選んだ。

に選定したことには昌康も直なる努力を續くる時は大早間重太夫も贊成であつたふであらうと、どうしても其の子を育て成人させることが恐ろしかつた。

深雪の方の産氣を催したのは正午頃からであつた。そして夜の四つ半今でいふなら午後十一時頃に分べんした。神部等にしつてそれは好都合の時刻であつた直義の士となり自分の云ふことによく從ふてゐる、しかし一部には隨分反感を有つてゐる者のあることを重太夫はよく知つてゐた、今のうちは昌康に勢力があるから默つてゐようがもし成昌の子が成人したなら必ずやそれを擁して立とうとするに極つてゐる、さすれば成昌の子を養育すると云ふことは我が首を斬る及を磨ぐ樣なものであると考へるといふ氣持ちがしない、で直ちに昌康の言を贊成し産所して産所から子を盗み出し密に殺して後の災を避けやうと云ふことになつた

重太夫は腹心の武士三人に命じてその夜の八つ頃に産所へ忍び込ませることにした、忍び込んで盗み出す役が一人、二人は庭にかくれてゐて萬一の際に助勢するといふのであつた

平間　好間
七月二十二日より（毎日午前七時より）
停留所　平町古鍛冶町天理教會前
同　好間村權現堂（元山入口）
賃　金　平より元山入口まで卅五錢
町田まで三十錢、竪坑まで二十五錢
中下好間まで二十錢
日中御用の方は三井支店（電話一五六番）
夜分は谷口樓へ、貸切御申込の際は電話八番に御申付けを願ます。
平町二丁目（谷口通）
三井自動車營業所
電話八番

入院隨時（自炊の便あり）
大和田醫院
平町南町（電一七〇番）
耳鼻咽喉科
科專門

女給さん募集
女給　十五六才以上　廿一二才迄　五名
至急募集致シマス御希望ノ御方ハ御出デ下サイ
（給料等ハ面談ノ上御相談致シマス）
平町三丁目（三井呉服店裏）
カフエーボタン
電四六四

扇風機月賦販賣
三月拂十二吋頸振（一回目十二圓　二回目十圓　三回目十圓）
灼熱の眞夏が近付きました
事務所のテーブルの上に……
商家の店頭に……
可愛ゐ子さん方の爲にも
各御家庭に一臺は是非お備へ下さい
モーター扇風機の修繕も致します。
平町白銀町九番地
電機機械　日東商會
電話平六五〇

居ながら萬年の涼味

貸地廣告
平町郡役所より税務署附近の新開地に一千餘坪の貸地があります、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絶對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極ぐ安値にて貸しいたします
御希望の方は電話なり戴けば社員がお伺ひして親しく御相談に應じます
小名濱商事株式會社
平出張所
電話六〇三番　五四一番

外科、耳鼻咽喉科
内科、泌尿器科
X光線科
外科　赤心堂病院
平町字田町
電話四七五

カフエー
ビール
ブドウ
ビール
三ツ矢サイダー
金線サイダー
安全清新!!
幾中の御飲料には最新の設備と最新の科學によつて製造せられたる此の……
ビールとサイダーを御常用下さい
5—2—8—3
日本麦酒鑛泉株式會社

愈々お盆の蓋明く

今夜から向ふ三日の間 焚松の中をジャンガラ團 歡樂に醉ふ若人達

盆が來たのにいにどらぬ奴は木佛金佛石佛――と謳はれ午後六時から一切に焚かれるお盆もいよ／＼今夜から全町は火の海と化し農村かだ、冬は陰うつな空に閉ぢら繰り込むジャンガラ念佛込められ雪消となれば花見月を愛づる秋になれば日ごとに短くなる日あしを氣遣ひながら

終日出來 秋の收穫に

忙しい、こうした農民の生活に年一度の肩休め時だ文化の前線を行く人都會人の目にはあまりにも粗野かゝつた情緒であらうともこちらの町あちらの村に俄仕掛けのやぐらがあがり、夜を徹して踊太鼓が農村の若人をやたら無性に躍り起せる新しい裾衣、新しい下駄

親の目も 勇姑めの目

もあらばこそ、天下晴れての日遊び夜遊び「二月さまさへ夜遊びなさる俺か夜遊び無理もない」鎭守の森のかなたから、月の出から月の入りまで踊れよ狂へよ農村の若人達、盆が來たのだ各地まち／＼な習慣がけふから三日間賑ふ事となつた

今夜から賑ふ 平の松焚き

消防で警戒

平町の舊暦字羅盆はけふから三日間催される事となつたが恢例による松焚きは今夜も右目的を遂行する事に

十一日から各町内の通りにな馬鹿さわぎに陷らぬ樣充分に互ひが注意して慾しいものであると新任猪狩署長は語つてゐた

賑かはよいが 謹慎の意を

猪狩署長希望

陰暦の盆は年に一度の行事にして殊に若い子弟等の大きな慰安事で賑かならしむる爲めの催しは兎や角詮議すべきものでないが本年は未だ諒闇中であるからみだ

磐城入山の 罹災者供養

けふ盛大に

今春相ついで勃發した磐城入山の二入炭礦に於ける未曾有の大變災事件が生んだ犧牲者の新盆供養は今十一日午前十時から磐城炭礦は宮下導師の下に同礦グランドに於いて、入山は森導師の下に臺の山に於いて各れも僧侶數十名出席盛大に擧行した

撒水に理窟を言ふは 反逆者の暴言

一般心ある町民は 愚劣な心情を嘲ふ

平消防組が夏季中に於ける市民の保健衛生に益あらしむべく撒水自動車の運轉を計劃し町當局に迫つた處財政逼迫の折柄之れに要する費金の捻出に途なく折角の公益事業を立ち消いの運命に到達したので市内

各區長に 諮り取敢ず

撒水希望の區々の寄附金より假令へば一少部分で雖も右目的を遂行する事に

平町の舊暦字羅盆はけふから三日間催される事となつたが恢例による松焚きは今夜から賑ふ

懸賞募集

私達が新聞なり雜誌なりを開く度に、よく見受けられるのは何々石鹸とか、何々化粧品とかの懸賞募集の廣告である。

懸賞募集にも種々あつて、多數民衆の中より隱れたる天才の作品を求めて、それを社會に發表すると共に勞働者の利用に供するものもあらうから是等は決して責むべきものでもなく、却て結構な事であらうと思はれる

併し懸賞募集の多くは商店樣に於ける商品廣告のためのもので、幼兒と雖も直に解し得るやうな馬鹿氣切つた問題に對して一等何十圓とか又は金側時計とかの賞品名を麗々しく掲げて讀者の目を引いてゐるのである

殊に近頃に至つては、その商店なり會社なりの商品を買はねば應募の出來ぬやうに商品の包紙や箱裏に答案を書かせるとか商品の包紙の文字の數なり商標なりを當らせるのであるから應募せんとせばどうしてもその品を買はなければならないのである。賣らんがための手段とは云へ餘りに露骨すぎて不愉快を感ぜしめる。

最もこんなのへ應募する者があほうか知らないが、子供達は樂みに出して見る氣にもなるだらうし、大人だつて金時計や金指輪の光に迷はされて一寸應募して見る氣になるのか人の弱みなんだらう。

されはこの樣な射倖心をそゝる懸賞募集に對しては、問題と賞金、又は賞品名を、其筋より大に注意をする必要があるではあるまいかと思はれる。

（G生）

繃と鐵砲

（投書歡迎）

繭が餘りに安く 一貫目三圓の損

馬鹿骨は折れぬと 秋蠶掃立て澁る

本郡地方各農村における秋蠶は糸價の慘落に起因して目下の處掃立全くなく蠶種家が最低を

豫想して 製造した生

種も殆ど買手がない程である。最近の學情から計算すると一貫目の繭を生産するには桑園の手入其他、於て約金八圓の費用を要するが現在の繭市場一貫目四五圓なる時は養蠶家は一貫の繭を得るに却て金三四圓の損失を來す事になる悲慘さであるで、さらは言ふ者の折角の桑葉を放棄するのも殘念な事なので

一般養蠶 家は今掃立

てゝ收繭を長く入庫するよりも一日でも遲く掃立てゝ繭價の恢復に近づかせしめやうとする考へで最晩秋蠶を飼育する模樣である。右について郡駐在蠶業技手は語る「管内の秋蠶は養蠶家が繭價の模樣を見てゐるので最晩秋蠶が多いらしいが今までの例から見ると晩秋蠶で十月二十日上簇といふ例があるから繭價が昂騰するものと豫想する人は決して掃急ぎをする

必要はない と思ふ

かし晩秋蠶で九月初めに掃立て同月末頃までに上簇する蠶は氣候その他が適當なため春蠶にたける立て通しの桑葉を用くる以外に於ては非常に飼よく繭質もよいものが出來る」云々

一齊に蓋を明けた 舊盆の興行界

一ケ月觀覽料五千圓 映畫幕末物全盛

平町の活動常設館平館、有楽座、平劇場、聚樂館の各劇場は盆興行を當てに夫れ／＼全力を擧げ今十一日から一齊に蓋明けた、舊暦盆は各農村からの入出が多いだけ之れ等興行物も相當の好況を豫想されてゐるが平壁管内に於ける平館、有楽座（平）三國座、湯本座（湯本）の四常設館に於ける去

盆の天氣

小名測候所發表

盆には雨が降り勝ちなものとされてゐるのに入盆の今十一日は朝來からの雨模樣で踊子連中の氣をもませたが小名濱測候所の觀測に依れば大平洋に昨日から現れた颱風も本日正午までに全く去つたから明日からは又氣候が順調に入るものと想はれると言つてゐる

紫雲英栽培

大浦村農會では今十一日午前十一時から同村小學校に於いて紫雲英栽培に關する講話會を開催したが講師は郡山農事試驗場高崎技師で郡農會からも大山技師臨席講演をなした

旅藝人

□日活映畫、南部章三、津島ルイ子主演

お嬢さま、東京城泰長の驚嘆した愚ひ物ラブ奥い喫茶――ロマンチックな舞踊しいられた百合子は悲嘆沼を來て藝人時雨庄さと出會したが出後に命の手に繰られ不本意ながら上或る度に踊りに踊した、時雨は百合子を救けて百合子を我物にせんと落しこ入しのスター百合子に近づいなる正雄に驚嘆を感じ百合子を退けに、ずけずけて清雪子を誤心さした。南部の正雄、津島の溢智十ムの樣數中幕末物はその三分ノ二を占め殊に劍劇物でも相當長尺の連續物が喜ばれてゐる傾向があると

鹽屋岬沖に 清水丸座礁

乘組員は無事

茨城縣那珂郡や磯町字清水根本造酒之助所有の發動汽船清水丸（五十三馬力）は本郡沖に經漁のため出漁中今十一日午前三時頃濃霧のため進路を誤り豊間沖の暗礁に乘り上げ座礁したので豊間其の他各漁村では直ちに救助作業を開始したが同所附近は有名なる難所の事とて到底救助する事を得ざるため平署では直ちに茨城縣に對し救助手配方を通知したが乘組船員の生命には別狀ない

生産量は減つたが 實收金は增加す

濱三本炭の現況

濱三郡木炭同業組合の去月中に於ける生産木炭俵數は石城郡四萬八千九百九十四俵、双葉郡五萬五千百三十一俵、相馬郡一萬九百六俵、總計十一萬五千三十一俵、此れを前年同期の生産俵數十二萬四千二百俵に比較すると九千百六十九俵の大激減であるが此の原因は不況に依る製造手控の結果である學勿論であるが同組合の移出木炭檢査に依れば始んど全部は優等品に近く近來全く見られない程の良成績を上げたため仕向先たる東都方面の受も頗る順調で製

總額百四十萬圓 一人當り五十圓

去年一ケ年中に 平町の生産調べ

平町に於ける昨年度の總生産額は合計百三十四萬二千百四十二圓で一人當りに換算すれば五十二圓となるが戸數から見れば二百八十九戸である

△農産物米、麥葉煙草其他八萬七百八十圓櫻桃、梨、柿其他八千九十圓、蔬菜、餘肥、花喜養蠶十二萬八千八百三十圓△醸造酒、醤油其他百四萬七千二百六十二圓△水産製造物一般一千九百五十圓△家蓄豚鶏其他十七萬七百八十七圓△林業竹林千二百圓

鎌田橋畔の 燈籠流し

來る廿日の夜

平町鎌田町青年主催町内宗寺院機援、燈籠流しは今日平町の盆に一段の興趣をそへる催し物として一般から迎へられる樣になつたが本年も來る二十日夜を期し鐵道關係及無縁佛供養のため鎌田橋畔から無數の燈籠を流す計劃である

劇と映画

平館――主任辯士石井君は豫備に應召し麻布三聯隊に入營中このほど歸館お盆特別映畫日活寶篇『大久保彦左衛門』全二十卷、連續活劇『死の寶庫』八卷を一緒名映を揃いて舊十四日より五日間上映

平劇場――歌舞伎名代大一座で本日より開演初日一

社告

明十二、明後十三日は陰暦字羅盆の十五、十六日に相當するので工場員慰安の爲め二日間休刊しす四日の日曜日に平常通り發刊いたします、但し突發事件等の場合は隨時號外を發行して御期待に添います故惡しからず御寛恕下さる樣

磐城新聞社

明日の天氣豫報

本日正午の溫度八十度四分

南の風 曇後晴

（小名測候所發表）

番目「攝州合邦」中幕「矢口の渡し」大切「細川血達戸」を上演

時言

平消防組が然も公益の爲めに、剩餘水を街路に撒水したからとて全町民が有形無形にどれだけの損害かあると言ふのだ

□

然も町民の一部には我が上水道の根源をさい脅かさんとする利權魔がありではないか、眼を開いて膝下の危急を知れ

□

若し全町に水を撒きたくば寄附金を出すべしさ、已れの欲せざる處ひとに強ゆれば夫れを年增女の嫉妬根性と謂ふ

□

盆を飼つて、骨を折つて結局一貫目三圓づつの損がたかるとしては馬鹿々々しさも此の邊が頂上の部だろうヨ

平館隣り 御料理 鰻蒲燒 仕出し 魚榮 電話四二四番

そばハやぶ 味は純粹の東京式 配達は迅速の江戸兒式 △開業當時の職長本月六日東京より來たる 是非とも一度御試食を 平町仲田町 やぶそば 電話一四一番

大佛彦左衛門 舊盆特別大興行 當ル舊十四日ヨリ五日間短期興行 毎日晝夜公開

日活現代怪奇連續活劇 死の寶庫 終篇 西條香二子、島耕二主演

本映畫協定料金打破 破格入場料 特等……六〇 一等……五〇 二等……四〇 小人各等半額 平館

御需めの方は 平白銀町 吉田新聞店へ 電話四十八

平町紺屋町 藤沼醫院 電話五〇七番

平町田町 高久病院 電話五一三番

平町南町 上田外科醫院 電話一二九番

平町田町通り 磐城病院 電話一一四番

給仕募集 男子十六、七才位身体強健にして自轉車に乘り得る市内居住者一名を募集す給料其の他委細面談希望者自筆履歴書持參本人來社あれ 磐城新聞社